

2013年11月22日

各位

積水ハウス株式会社

「ドクターユニバーサルデザイン授業 ～小学校での取り組み～」

「IAUDアワード2013」において金賞を受賞

積水ハウス株式会社（本社：大阪市北区、社長：阿部俊則）は、11月21日（木）に発表された「IAUDアワード2013」（主催：一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会〈IAUD〉、事務局：横浜市青葉区）において「ドクターユニバーサルデザイン授業 ～小学校での取り組み～」で“未来世代部門・金賞”を受賞しました。

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会は、UDの更なる普及と実現を目的に活動している団体で、本年11月28日に設立から10周年を迎えます。「IAUDアワード2013」は、“一人でも多くの人が快適で暮らしやすい”UD社会の実現に向けて、特に顕著な活動の実践や提案を行っている団体・個人を表彰するものです。

未来世代部門・金賞受賞：「ドクターユニバーサルデザイン授業 ～小学校での取り組み～」

積水ハウスでは、快適な暮らしを先進の技術で実現する「SLOW & SMART」をブランドビジョンとして掲げています。その取り組みの一つとして、「感性・身体・知性・社会性」の4つの発達子どもには大切だと考え、安心して暮らしながら生きていくための力を自然に育む住まい、子どものためのユニバーサルデザイン「コドモイドコロ」に取り組んでいます。

「ドクターユニバーサルデザイン授業」では、普段の生活や家など身近なところにも数多くあるユニバーサルデザインに気づききっかけを作り、実際に校内のユニバーサルデザインをグループで探しに行く授業を実施。考えるだけでなく、子どもたち自らが「なぜ・どこがユニバーサルデザインなのか」を考え伝えることで、子どもたちの確かな目「UDリテラシー」を養い、将来自分の意思でユニバーサルデザインを取り入れることのできる子どもを育てるための取り組みです。

本アワードでは、「次世代教育を重視しているこの取り組みがより重要で、今後大きな可能性を秘めている」との審査員のコメントをいただきました。



体験型授業の様子(講義授業)



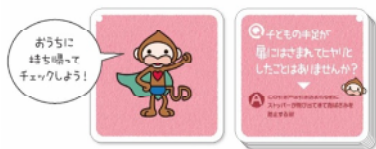
体験型授業の様子(体験授業)

また、「子どものためのスマートユニバーサルデザイン～生活者とともに作る子どもの安全な成長を考えた住まい～」が“未来世代部門・銀賞”を受賞しました。

未来世代部門・銀賞受賞：「子どものためのスマートユニバーサルデザイン

～生活者とともに作る子どもの安全な成長を考えた住まい～

住まいづくりの際に、親子でユニバーサルデザインを学ぶことができるように、安全を確保しつつ自主性を促す“子育て”視点に基づいた「子どものためのユニバーサルデザイン」を学習・体感できる仕掛けを用意しました。生活者が住まいづくりの際にユニバーサルデザインを理解し、安全・安心な設計を検討するために、身近なヒヤリハットなどに気づききっかけとなるチェックカードや親子で学習できるポップを住宅展示場に導入しました。それにより、生活者のユニバーサルデザインに対する理解が一層深まります。



おうちのキッズUDチェックカード



キッズUDポップ

